



京都検定講習会にも携わる丘さん(左)と岩井部会長

独自の切り口から京都の魅力を発掘

(同)京都ジャーナリズム歴史文化研究所は、研究者、プランナー、マスコミOB、番組制作者、放送作家、ライターなどで構成される、京都の歴史・文化をさまざまなジャンルで発信する企画制作集団です。代表の丘眞奈美さん自身も作家として『京都魔界巡礼』や『京おんなに学ぶ』『京都のご利益徹底ガイド』などの著作で、京都の魅力を発信するほか、本所京都検定講習会の企画・講師としても参画されています。

平成21年にこのユニークな集団を立ち上げたのは、丘さんが放送局勤務の傍ら番組や執筆、講演を通じ歴史を研究し始めたのがきっかけだそうです。「祖父・団徳磨を筆頭に映画一家で育ち、映像や文章で伝える仕事に就く流れになったのかも」と丘さん。出版・番組・映像、ウェブ・アプリ、文化イベント・セミナー、観光企画、京都ブランド開発、産学公サポートなど活動は多岐にわたります。

こんにちは!
〇〇部会です

部会長の部会員訪問
観光・運輸部会編

京都の魅力を
コーディネートする
企画集団

合同会社
京都ジャーナリズム歴史文化研究所

会員との“つながり”拡充を目的に、本所の12部会の部会長が部会員の皆さまを訪問いたしております。今回は、観光・運輸部会の岩井一路部会長が、(同)京都ジャーナリズム歴史文化研究所を訪問し、丘眞奈美代表にお話を伺いました。

NHK大河ドラマ「八重の桜」の放映を機に人づくりも

日本人の精神文化のルーツである京都に、現代の社会問題の解決の糸口があると指摘する丘さんは今、若者を対象にした勉強の場づくりを構想中です。来年放映のNHK大河ドラマ『八重の桜』から、「例えば女性を対象にした京女ジャーナリズム塾。生活文化を支えてきた女性の視点から歴史文化を学び合えば、新たな未来が見えてきたりして」と語りながら、「観光現地講座や観光企画、番組・映像制作をはじめ、京都の地域資源をメディア出身者のノウハウを活かして企画発信するの」

が私達の特徴です。今後も多くの方々が私達のお役にたつていきたい」とにこやかに意気込みを語っておられました。岩井部会長も「京都の魅力を高めていくには、人と文化などをつなぎ合わせる『コーディネーター役が大切』と今後の同社の活動にエールを送りました。



京都に関連する執筆活動にも熱心に取り組む。

観光・運輸部会のご紹介

〈部会長〉岩井 一路 (株式会社ハトヤ観光 代表取締役社長)
〈部会員数〉1321件 (平成24年10月23日現在)

観光と運輸に関連する事業者が業種を超えて集まり、「和」の心を大切に、他の観光関連団体などと連携して業界振興を図っています。観光シンポジウム、観光スポットなどの視察会、部会員交流会など、お役立ちの楽しい催しを行っていますので、ぜひご参加ください。

【観光・運輸部会の年間事業予定】

12月 核会員交流会
3月 部会員交流会 など

【お問合せ】

観光・運輸部会事務局
(京都商工会議所 産業振興部)
TEL: 075-212-6453
E-mail: shinkou@kyo.or.jp